

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	独立行政法人国立科学博物館施設整備に必要な経費		担当部局庁	生涯学習政策局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成13年度～		担当課室	社会教育課		社会教育課長 塩見みづ枝	
会計区分	一般会計		施策名	I-2 生涯を通じた学習機会の拡大			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	独立行政法人通則法第46条		関係する計画、通知等	生物多様性国家戦略(平成22年3月16日閣議決定) 科学技術基本計画(平成18年3月28日閣議決定)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	独立行政法人国立科学博物館の設置する博物館施設の整備充実を図るため、科学博物館が行う博物館施設の整備に要する経費に対して補助を行い、もって自然科学及び社会教育の振興を図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震の影響で、筑波地区温室が基大な被害を受け、筋交いの切断等や頻発する余震により倒壊の危険性が高いため、入園者の立入が不可能な状態が続いている。入園者の安全確保を最優先しつつ、温室内で栽培している貴重な絶滅危惧植物等の保全を図るため、筑波地区温室の改修等を行うものである。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求
		補正予算	-	-	-	452	-
		繰越し等	-	-	-	-	-
		計	-	-	-	452	-
	執行額	-	-	-	-	-	-
	執行率(%)	-	-	-	-	-	-
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	本事業は、東日本大震災により被害のあった施設について、その復旧費用を補助するものであり、国が一定の目標を設定することになじまない。		成果実績				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	東日本大震災により被害のあった筑波実験植物園熱帯雨林温室、サバンナ温室、熱帯資源植物温室、実験温室の改修工事の件数		活動実績 (当初見込み)			()	(4)
単位当たりコスト	113百万円 (円/箇所)		算出根拠	第一次補正予算額 452百万円 / 4件			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	計						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、用途・費目	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>これまで行われた政府横断的な事業点検による見直し基準等を踏まえた内容となっており、成果目標を達成すべく、問題なく執行が進んでいる。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
		<p>本事業は、執行面における課題もない。また、事業の成果目標も立てられていることから適切な事業と認められる。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記載したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。

文部科学省
452百万円

事業概要

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震の影響で、筑波地区温室が甚大な被害を受け、筋交いの切断等や頻発する余震により倒壊の危険性が高いため、入園者の立入が不可能な状態が続いている。入園者の安全確保を最優先しつつ、温室内で栽培している貴重な絶滅危惧植物等の保全を図るため、筑波地区温室の改修等を行う。

【交付】

(A)
 (独)国立科学博物館 452百万円
 施設整備費補助金
 (筑波地区温室改修等工事)

筑波地区熱帯雨林温室の改修等

(B)
 440百万円

温室等改修
工事

(C)
 12百万円

設計費用

(金額は見込である)

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補
足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

(A)独立行政法人国立科学博物館			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
施設整備費	温室改修等	452			
計		452	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事	温室等改修工事	440			
計		440	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務	設計費用	12			
計		12	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0